

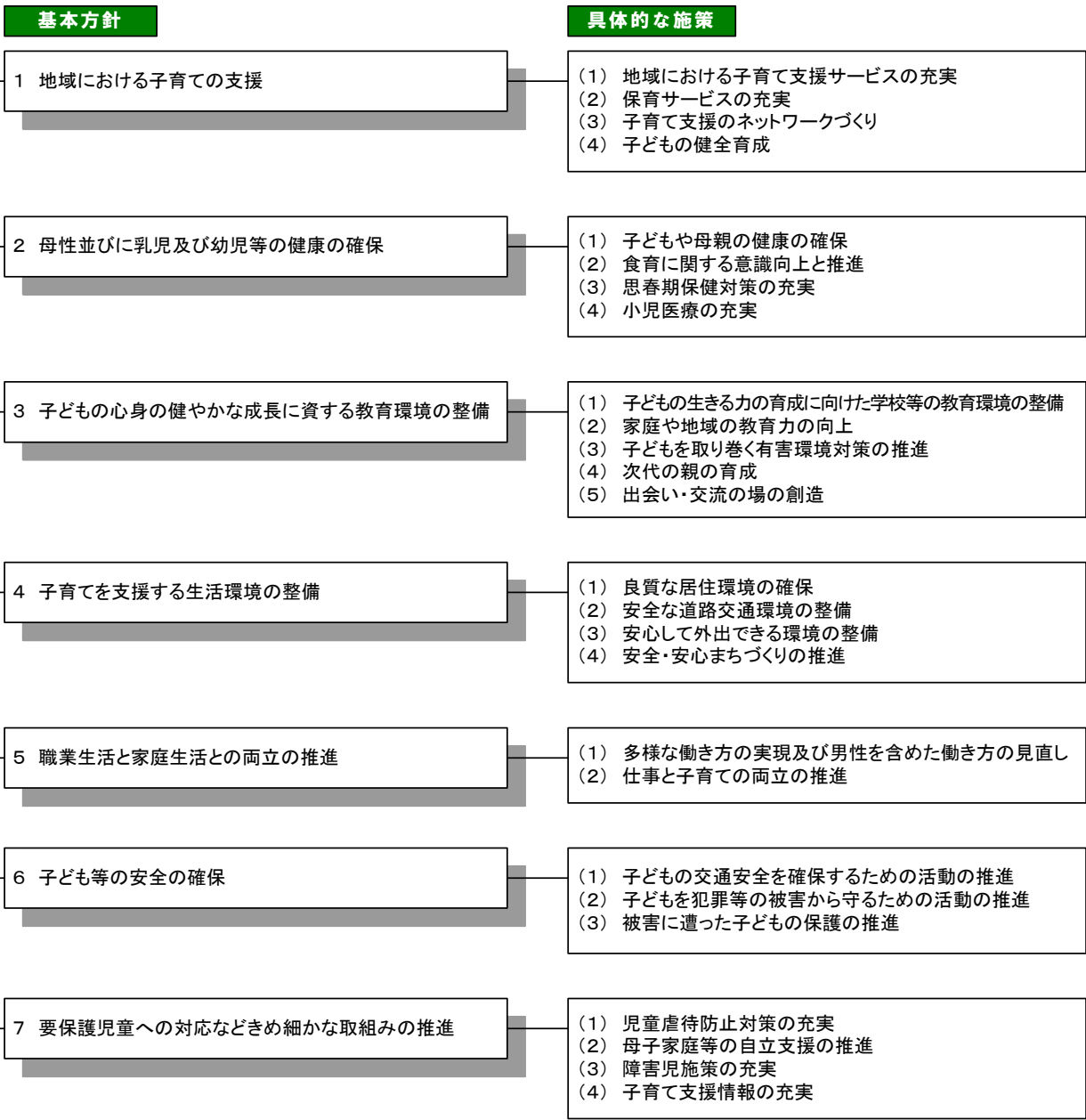
# 館林市次世代育成支援行動計画 後期計画

平成24年度進捗状況報告

# 館林市次世代育成支援行動計画の体系図

## 基本理念 自然と文化に包まれて 子ども・親・地域がともに育つまち

- 基本的な視点**
- ・子どもの視点
  - ・次代の親づくりという視点
  - ・サービス利用者の視点
  - ・社会全体による支援の視点
  - ・仕事と生活の調和の実現の視点
  - ・すべての子どもと家庭への支援の視点
  - ・地域における社会資源の効果的な活用の視点
  - ・サービスの質の視点
  - ・地域特性の視点



◆平成24年度次世代育成支援行動計画進捗状況

基本方針	平成24年度 計画事業数	評価A 達成	評価B 概ね達成	評価C 未達成	評価D 事業見直し	評価E 事業廃止	検討中	実施なし等	達成度 (評価A, B/事業数)
1 地域における子育ての支援	70	47	11	6	1	2	2	1	82.9%
2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	38	35	2	1	0	0	0	0	97.4%
3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	43	30	12	0	0	1	0	0	97.7%
4 子育てを支援する生活環境の整備	14	10	1	2	0	0	0	1	78.6%
5 職業生活と家庭生活との両立の推進	18	9	3	4	0	0	2	0	66.7%
6 子ども等の安全の確保	9	7	1	0	0	1	0	0	88.9%
7 要保護児童への対応などきめ細かな取組みの推進	28	26	0	0	0	0	2	0	92.9%
合計	220	164	30	13	1	4	6	2	88.2%

各事業毎に、ABCDEの5段階で評価

◆特定事業の目標事業量・実施状況

事業名	事業内容	平成24年度 実績	平成26年度 目標事業量
通常保育事業	保護者が労働等により家庭で十分に保育することができない就学前の児童を、保護者にかわって保護養育するとともに、仕事と子育てを両立できるよう支援する事業です。	15園 定員数 1,660人	15園 定員数 1,660人
延長保育事業	保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等、やむを得ない理由により11時間の開所時間を超えて保育が必要な場合、保育を実施する事業です。	9園 1時間延長 7園 30分延長 2園	10園 1時間延長 8園 30分延長 2園
夜間保育事業	保護者の就労形態の多様化に伴う夜間保育のニーズに対応するため、午前11時から午後10時までの11時間の開所を基本とする認可保育所で、児童の保護養育をする事業です。	検討	需要の推移を見極めながら実施を検討
トワイライトステイ事業 (夜間養護等事業)	児童の保護者が仕事のため、帰宅がいつも夜間になる場合や学校の休日に不在となる場合に、児童養護施設、または保育士等を児童の自宅等に派遣して、生活指導や食事等を提供する事業です。	検討	需要の推移を見極めながら実施を検討
休日保育事業	保護者が就労等のやむを得ない事由により、日曜・祝日等の休日において、児童を家庭で保育できない場合に、家族に代わって保護養育し、保護者の子育てを支援することを目的とする事業です。	検討	1園
病児・病後児保育事業	病気の回復期にあるため集団保育等が難しい児童で、保護者の勤務の都合、傷病、事故、出産、冠婚葬祭等、社会的にやむを得ない事情によって家庭で保育が困難な児童（小学校低学年児童を含む）の保護養育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援する事業です。	1か所	1か所
放課後児童健全育成事業 (学童クラブ)	保護者が労働等により昼間家庭にいない場合、小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童に対し、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。	16か所	16か所
一時預かり事業	保護者のやむを得ない事情により、または心理的・身体的負担を軽減するため、保育園に入園していない児童を一時的に保護養育する事業です。	2園	3園
地域子育て支援拠点事業	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とした事業です。	4か所 (センター型)	5か所 (センター型)
ファミリー・サポート・センター事業	援助を行いたい人と援助を受けたい人からなる会員制で行う、地域での育児に関する相互援助活動事業です。	検討 (平成25年10月1日事業開始)	1か所
ショートステイ事業	保護者の疾病、出産、監護、事故等により児童の養育が困難になった場合、児童福祉施設等で児童を一時的に保護養育する事業です。	検討	需要の推移を見極めながら実施を検討

## 平成24年度事業について

### 【新規事業】 2事業

個別具体事業	事業概要	平成20年度実績	平成24年度実績内容	平成24年度目標達成度	今後の対応及び事業検討事項等	平成26年度目標	所管課
309	第3子以降の保育料無料化(保育園)→1-(2)へ追加	—	実施中	A	継続	継続	こども福祉課
310	乳幼児健診後相談(おひさま広場)→2-(1)へ追加	—	実施回数5回/年(月1回実施) 相談者数25人	A	継続	継続	健康推進課

### 【変更等】 3事業

個別具体事業	事業概要	平成20年度実績	平成24年度実績内容	平成24年度目標達成度	今後の対応及び事業検討事項等	平成26年度目標	所管課
109	小・中学校合同ボランティアスクール→「ボランティア体験スクール」より事業名変更	福祉に対する意識を高めるため、小・中学生合同のボランティアスクールを開催します。	高校生 開催日数4日間、参加者4人 中学生 開催日数3日間、参加者7人	小・中学生合同 8月3日開催 27人参加 1月26日開催 14人参加	B	継続	社会福祉協議会
171	障がい児通園事業→「児童デイサービス事業」より事業名変更	児童の心身発達に対する指導を実施します。	利用者数 8人 延 1,162人	利用者数 10人 延 1,402人	A	事業拠点の移転(障がい者総合支援センター)	療育訓練の充実 社会福祉協議会
301	ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン接種の推進→6「予防接種の推進」に統合	ワクチン接種緊急促進事業によりヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン接種を行い、疾病の予防を行います	平成22年度より実施(平成25年3月31日まで)	ヒブワクチン 2436人 小児用肺炎球菌ワクチン 2494人	A	67にて継続(法改正による)	67に統合継続 健康推進課

### 【事業廃止】 4事業

個別具体事業	事業概要	平成20年度実績	平成24年度実績内容	平成24年度目標達成度	今後の対応及び事業検討事項等	平成26年度目標	所管課
37	マタニティサロン	妊婦の仲間づくりや、気軽に相談できる場を提供します。	実施回数 6回/年 妊婦88人 幼児25人	実施回数 6回/年 妊婦42人 幼児17人	E	事業廃止 ママパパ学級に事業内容包含	平成24年度終了 健康推進課
41	第3子誕生祝金支給事業の推進	児童の誕生を祝福し、第3子以上の出産に対し、1人当たり10万円の祝金を支給します	実施中	4件	E	平成23年度限りで廃止(平成24年3月31日出生児まで、60日以内の申請可)	平成23年度終了 こども福祉課
120	わが家の環境ISOの推進	各家庭においてCO2削減をはじめとする地球に優しいライフスタイルを実践してもらい実践期間に応じて初級・中級・上級の認定を行う。	66家族	75家族(H22:3家族)	E	次世代を担う、環境配慮行動意識の高い子どもたちを育成することにより家庭・地域への環境配慮行動の波及が期待できる事業への改編を検討する。	平成24年度終了 地球環境課
152	チャイルドシート購入助成事業	児童の誕生祝福と健全育成及び交通安全の確保のためにチャイルドシートの購入費を補助します	実施中	142件(児童数)	E	平成24年7月廃止(平成24年6月30日出生児まで、8月31日まで申請可)	平成24年度終了 こども福祉課

### 【平成25年度からの新規事業】 2事業

個別具体事業	事業概要	平成20年度実績	平成24年度実績内容	平成24年度目標達成度	今後の対応及び事業検討事項等	平成26年度目標	所管課
311	第3子以降の保育料無料化(幼稚園)→3-(1)へ追加	—	—	—	平成25年度より実施	継続	学校教育課
312	たてばやし学校エコライフ活動の試行→3-(2)へ追加	—	—	—	平成25年度より実施	本格運用	地球環境課